



株主の皆様へ

# 第12期 株主通信

2014年4月1日～2015年3月31日

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびは、当社エアバッグを搭載した自動車の度重なる市場措置により、株主の皆様はじめ、当社製品ユーザー様、取引先様など関係する皆様にご迷惑・ご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社は、当社製品ユーザー様の安全確保、信頼回復に向け、取引先である自動車メーカー様と協力して調査・分析を行うとともに、市場措置の対応や米国運輸省道路交通安全局(NHTSA)をはじめとする関係当局からの照会・要請などにも全面的に協力してまいりました。このほど、当社の米国子会社であるTK HOLDINGS INC.は、当社製品ユーザー様の安全を最優先すべく、NHTSAに対して、当社製インフレーターに関する4件の不具合情報報告書(Defect Information Report)を提出するとともに、同日付で、NHTSAとの間で、米国で市場措置を実施することなどを内容とする同意指令(Consent Order)に合意いたしました。本合意は、一部の不具合が生じたインフレーターに関するもので、NHTSAとの度重なる話し合いおよびその要請を受けてなされたものです。今回のNHTSAとの合意により、当社製品ユーザー様の安全確保、信頼回復へ向けて、一歩前進できたものと認識しております。今後も、NHTSAおよび自動車メーカー各社に全面的に協力し、当社製品ユーザー様の安全確保を最優先に考え、予防的措置を行ってまいります。

当社では、品質に対する認識をさらに高め、さまざまな改革に着手しております。新たに立ち上げた品質改革推進本部では、開発から、設計、調達、量産、納品までのビジネスプロセスそのものに対する品質改革の取り組みを行い、短期と中長期での体制改革を見据えた改善の実施、それらのグローバル展開を図ることで、リコールに繋がる可能性がある品質問題の発生を未然に防ぐことの徹底を志向しています。また、生産工程を見える化し、徹底したものづくりのムダの排除を柱とする生産体制改革プロジェクトを立ち上げたほか、問題発生の未然防止を図り、製品の品質を効率よく高める新たな開発・設計手法の導入と、そのエキスパートの育成プログラムを



代表取締役会長兼社長  
高田 重久

スタートさせるなど、全社的な取り組みを行っております。これらの取り組みを通じて、品質管理体制のより一層の強化・徹底を図り、皆様にご安心いただける製品をお届けすることで、早期の信頼回復を果たすべく、全社一丸となって全力を尽くしてまいります。

なお、当期はエアバッグ製品に関する自動車メーカーの市場措置に伴い、製品保証引当金繰入額を特別損失として追加計上した結果、295億58百万円の当期純損失(前期は111億44百万円の当期純利益)となりました。

配当金につきましては、中間配当の実施を見送るとともに、期末配当につきましても実施を見送らせていただきました。株主の皆様には多大なご心配とご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。何卒事情ご賢察のうえ、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 2015年3月期の経営成績について

当期における世界の自動車生産台数は、米国が引き続き好調を維持し、欧州や中国においても弱含みながらも堅調に推移しました。一方、ブラジル、タイなど一部新興国では減少傾向となり、日本でも前期比で減少となりました。

このような状況下、当期の連結売上高は、為替の影響もあり全地域で増収となり6,428億10百万円(前期比15.4%増)となりました。また、利益につきましては、日本、米州、アジアそれぞれで増益となり、営業利益は329億58百万円(同25.4%増)、経常利益は円安による為替差益が貢献し406億57百万円(同58.5%増)となりました。一方、上記の通り、製品保証引当金繰入額526億94百万円を特別損失として追加計上したこともあり、295億58百万円の当期純損失(前期は111億44百万円の当期純利益)となりました。

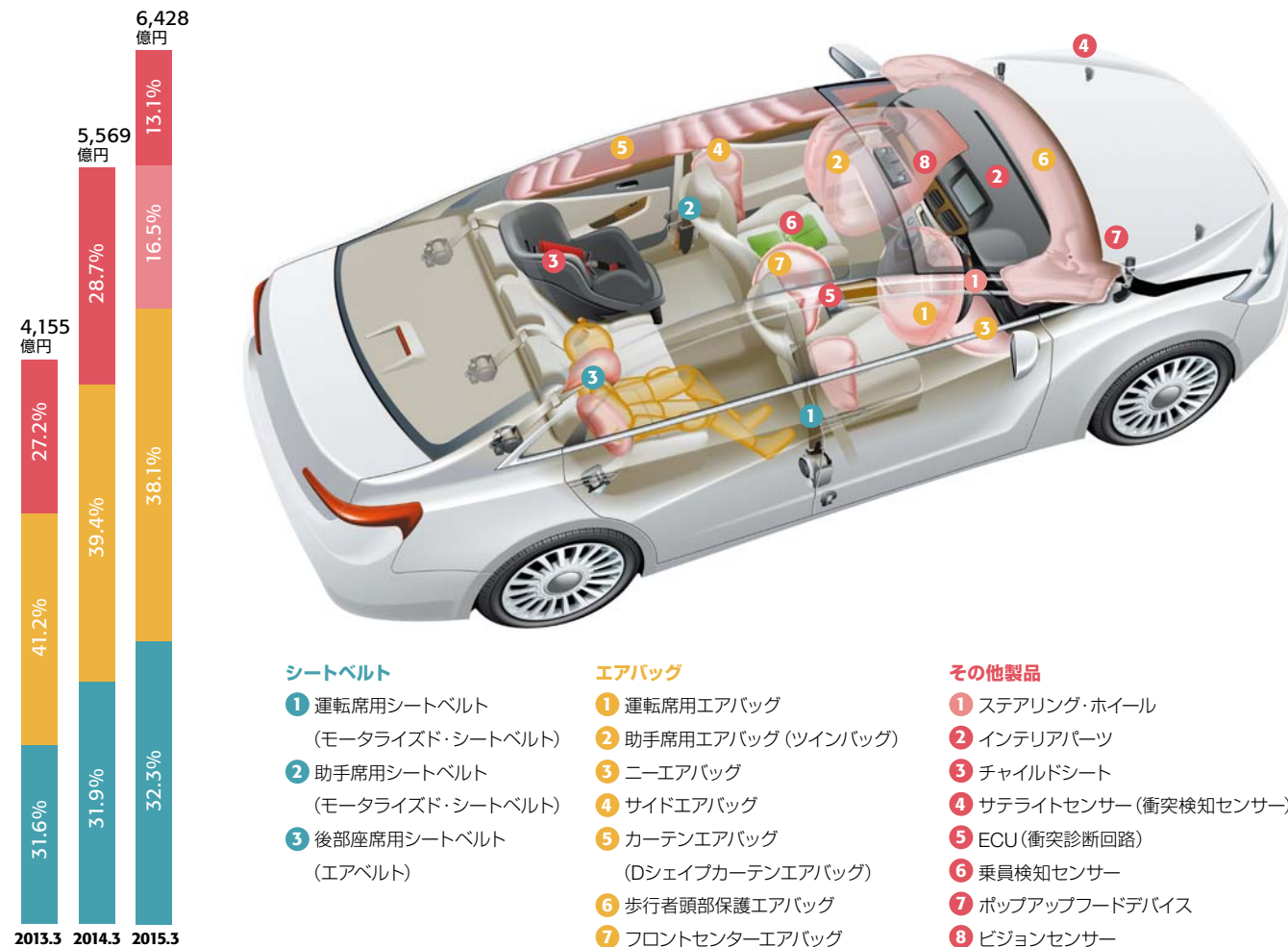
当社グループは「品質第一」を徹底し、信頼の回復に努めるよう力を尽くしてまいりますので、株主の皆様には何卒倍旧のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 製品別営業概況

タカタの自動車安全技術は、エアバッグやシートベルト、チャイルドシートなどにより乗員を直接守るパッシブ・セーフティシステムだけでなく、センサーと連携してドライバーに警告することで、事故を未然に防ぐ手助けをするアクティブ・セーフティシステムまで、新しい技術を開発することでトータル・セーフティシステムを追求しています。

### 製品別連結売上高比率

(■シートベルト ■エアバッグ ■ステアリング・ホイール ■その他)



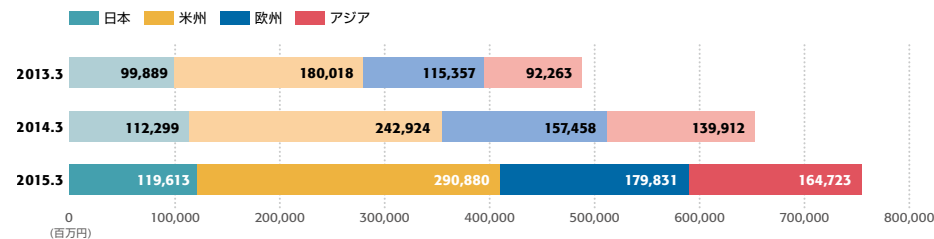
※2014年3月期以前は、「その他」にステアリング・ホイールが含まれています。

## 地域別営業概況

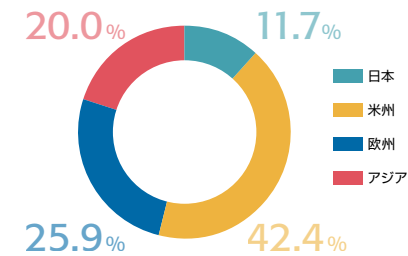
生産工場 21カ国 58工場 海外売上高構成比 88.3%

タカタは、グローバルに展開する開発・生産・販売ネットワークを擁し、世界の自動車メーカーに自動車安全システムを供給しています。

### 所在地別 売上高の推移 (連結控除前)



### 所在地別 外部売上高構成比



### 日本 JAPAN

日本におきましては、全体の自動車生産台数が前期比で減少したものの、受注車種の販売が好調に推移したこと、グループ企業向け輸出が増加したことから、当社売上高は1,196億13百万円と前期比6.5%の増収となりました。また、営業利益は円安による輸入原材料費高の影響はあったものの、増収による増益が貢献し、93億18百万円と前期比10.1%の増益になりました。



### 米州 THE AMERICAS

米国、メキシコ、ブラジル、ウルグアイ

米州におきましては、ブラジルで自動車生産台数の低迷が継続したものの、米国では米系自動車メーカーを中心に自動車生産、販売とも好調に推移しました。その結果、当社売上高は2,908億80百万円と前期比19.7%の増収になりました。また、営業利益も米国での増収による増益が貢献して、55億96百万円と前期比166.4%の大幅増益になりました。



### 欧州 EUROPE

ドイツ、ルーマニア、ポーランド、チェコ、ロシア、南アフリカ、モロッコ、ハンガリー

欧州におきましては、景気は弱含みながらも自動車生産はドイツを中心に好調に推移しました。当社売上高はドイツ系自動車メーカー向け売上が好調であったことから、1,798億31百万円と前期比14.2%の増収になりました。営業利益はハンガリー工場の立ち上げ経費、ロシアでの大幅なルーブル安による損失の影響もあり、31億49百万円と前期比3.9%の減益になりました。



### アジア ASIA

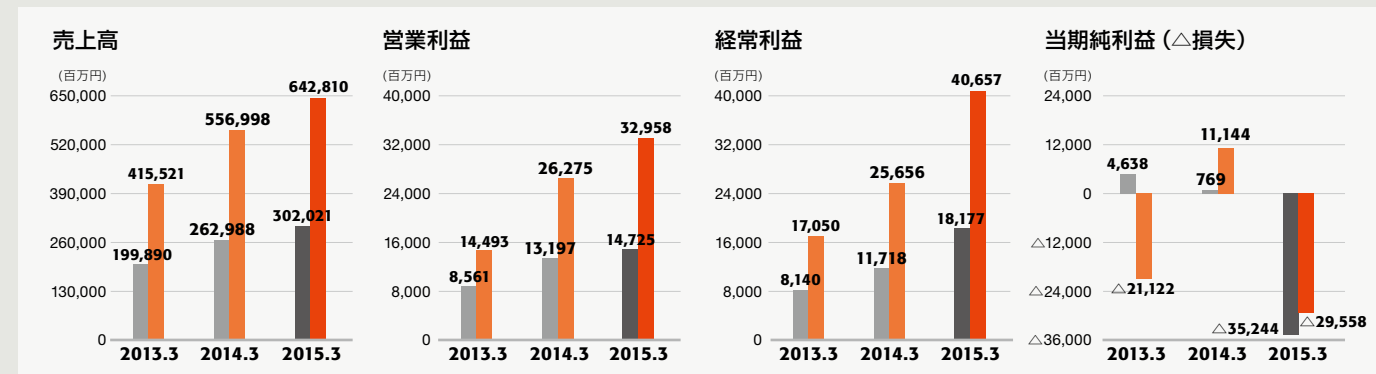
中国、タイ、韓国、フィリピン、シンガポール、マレーシア、インド、インドネシア

アジアにおきましては、タイを除くほぼ全域で自動車生産台数が増加しました。当社販売も中国、韓国、インド、インドネシア等で増加した結果、売上高は1,647億23百万円と前期比17.7%の増収になりました。また営業利益もインドネシア、韓国、タイ等の貢献もあり、155億45百万円と前期比25.2%の増益になりました。

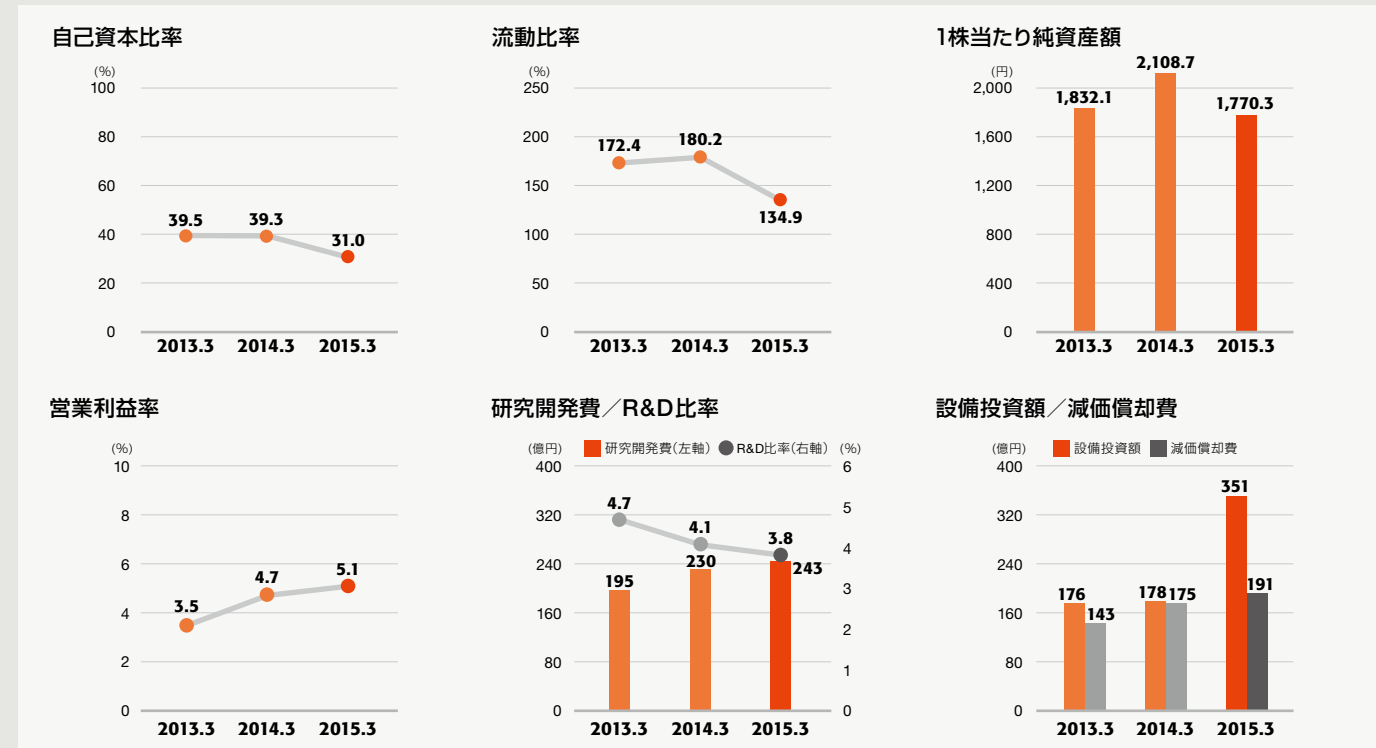


# 連結業績ハイライト

## 決算ハイライト



## 主な経営指標



# トピックス

## 安心・安全を追求した新製品の開発

**エアベルトシステム Gen.2:** 当社は、胸部に接する部分が膨張することにより後部座席の乗員の胸部傷害を低減させる「エアベルトシステム Gen.2」を開発しました。2010年に乗用車へ搭載を開始した「エアベルトシステム Gen.1」に対し、普及に向けて生産性を考慮した改良モデルで、現在、米国の自動車メーカーで採用されています。



エアベルトシステム Gen.2

**シート一体型乗員検知システム:** 助手席にチャイルドシートが取り付けられている場合、エアバッグが展開しないように制御することで、小さなお子様をエアバッグの圧迫による怪我から守ることができる新製品を開発しました。海外に加え、日本の自動車メーカーでも採用が決まり、供給がスタートしています。



シート一体型乗員検知システム

## 欧州向けジュニアシート

### 「TAKATA MAXI」(タカタ マキシ)が BEST PRODUCT OF THE YEAR 2014を受賞

欧州で販売しているジュニアシート「TAKATA MAXI」が、世界最大級のドイツのデザインコンペ「PLUS X AWARD」のファミリー&キッズ部門において、BEST PRODUCT OF THE YEAR 2014を受賞しました。「PLUS X AWARD」は、品質、イノベーション、デザイン、人間工学、エコロジーなどの分野を審査対象とする国際的にも権威のある賞です。「TAKATA MAXI」は、3~12歳頃まで使用できるヘッドレストと一体化した背もたれがついたジュニアシートで、子どもが安全で快適に使用できる機能や、親の利便性に配慮した多機能性が高く評価されました。今回の受賞を機に「TAKATA MAXI」



TAKATA MAXI



の販売拡大を図るとともに、ブランドイメージの向上に努めてまいります。

グループ会社におけるユニークな製品をご紹介します。

### ■航空機用シートベルト

Schroth社の航空機用2点式シートベルトが日本の航空会社のビジネスクラス・エコノミークラスで初採用されました。



### ■航空機座席用生地

Irvin社の航空機座席用生地は、その品質の高さにおいて高い評価を獲得しており、米国の大手航空会社で採用されるなど、航空機座席市場でシェアを伸ばし続けています。



### ■気密性に優れた特殊生地

Highland社は、高い気密性を必要とするライフジャケットなどの製品に使用されるラミネート生地製造における北米市場のリーディングカンパニーです。その性能は、緊急時に使用する安全製品に要求される厳しい条件を満たしています。





# 会社データ

(2015年3月31日現在)

## 会社概要

会社名	タカタ株式会社
資本金	41,862百万円
従業員数(連結ベース)	48,775名
事業内容	シートベルト、エアバッグ、ステアリング・ホイール、チャイルドシート等の製造販売

## 株式の状況

発行可能株式総数	325,473,600株
発行済株式の総数	83,161,700株
株主数	22,736名

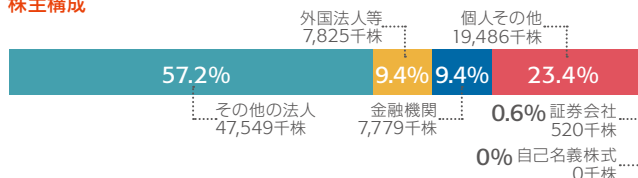
## 役員一覧 (2015年6月25日現在)

代表取締役会長兼社長	高田 重久
取締役	野村 洋一郎
取締役	小杉 教之
取締役	清水 博
取締役	容貝 泉夫
取締役	西岡 浩史
監査役	浜村 嗣
監査役	森田 一夫
監査役	高田 千早
監査役	佐藤 正典

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
TKJ株式会社	43,361	52.1
高田 重久	2,400	2.9
高田 暁子	1,711	2.1
株式会社三井住友銀行	1,300	1.6
エステー株式会社	1,250	1.5
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1,234	1.5
本田技研工業株式会社	1,000	1.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	965	1.2
高田 和彦	853	1.0
宮澤 節子	782	0.9

## 株主構成



## 免責事項

本書には将来の業績等に係る見通しが含まれておりますが、これらの情報は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実な要素を含んでおります。

将来の業績は、経営環境の変化などにより影響を受け変動する可能性があることにご留意ください。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
上場市場	東京証券取引所市場第一部(証券コード7312)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。なお、電子公告がやむを得ない事由によりできない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ●公告掲載のホームページアドレス <a href="http://www.takata.com">http://www.takata.com</a>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)  
☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL)  
<http://www.smb.jp/personal/agency/index.html>